



平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成22年10月28日

上場会社名 株式会社エスティック 上場取引所 東
 コード番号 6161 URL <http://www.estic.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)鈴木 弘
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)伊勢嶋 勇 (TEL)06(6993)8855
 四半期報告書提出予定日 平成22年11月2日 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の業績(平成22年3月21日～平成22年9月20日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	877	23.5	133	713.8	122		77	
22年3月期第2四半期	710		16		7		2	

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	5,699 30	
22年3月期第2四半期	163 21	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	2,788	2,502	89.8	184,077 97
22年3月期	2,710	2,492	92.0	183,300 20

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 2,502百万円 22年3月期 2,492百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期				5,000 00	5,000 00
23年3月期					
23年3月期(予想)				4,000 00	4,000 00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年3月期の業績予想(平成22年3月21日～平成23年3月20日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,700	20.5	169	103.6	181	136.6	103	198.3	7,591 90

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

会計基準等の改正に伴う変更 : 無

以外の変更 : 無

(注) 「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年3月期2Q	14,710株	22年3月期	14,710株
期末自己株式数	23年3月期2Q	1,113株	22年3月期	1,113株
期中平均株式数（四半期累計）	23年3月期2Q	13,597株	22年3月期2Q	13,597株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
【第2四半期累計期間】	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期におけるわが国経済は、一昨年のリーマンショックによる世界同時不況後、中国を中心とした新興国の急速な経済回復や各国で実施された経済刺激策を背景に景気回復の兆しが見えておりました。しかしながら、景気刺激策による内需拡大は予想以上に時間がかかる様相で未だ自律回復にまで至らない状況にあります。

そのような状況の中、通貨戦争とまで揶揄される世界各国の通貨安競争により急激な円高に至り、外需依存による景気回復が進んでいたわが国経済においては先行きに対する景気判断を極めて慎重に見極めなければならない状況に至っております。

このような先行き不透明な経済環境が続く中、当社主力販売先であります自動車産業は、国内市場においては大型設備投資案件が極めて少なく、需要の先行きが読めない状況が続いております。他方海外市場においては、依然中国による牽引状況に変化はなく、中国、韓国などアジア地域を中心に比較的堅調に推移しておりますが、急激な円高による価格競争力の低下が徐々に始まってきており、このままの円高水準が継続する場合は今後の受注活動に対する悪影響が予想されます。

このような状況下におきまして当社としては、海外展開の強化を図るべく海外代理店の拡充や、全社をあげて受注活動の強化、コストダウン、業務の効率化、経費削減などの企業体質強化に取り組んでまいりました。

その結果、当第2四半期累計期間は、売上高877百万円（前年同四半期比23.5%増）、営業利益133百万円（前年同四半期比713.8%増）、経常利益122百万円（前年同四半期は7百万円の経常利益）、四半期純利益77百万円（前年同四半期は2百万円の四半期純損失）となりました。

なお、当社製品は、ネジ締付装置、同部品及びネジ締付工具でありますので、単一セグメントとして市場環境を判断しております。

(2) 財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当第2四半期会計期間末における資産合計は、2,788百万円と前事業年度末比77百万円の増加となりました。

これは流動資産については、受取手形及び売掛金の増加などの影響により2,001百万円と前事業年度末比76百万円の増加となり、固定資産については、786百万円と前事業年度末比0百万円の増加となったことによるものです。

(負債の部)

当第2四半期会計期間末における負債合計は、285百万円と前事業年度末比67百万円の増加となりました。

これは主に買掛金の増加18百万円、未払法人税等の増加21百万円などによるものです。

(純資産の部)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は、2,502百万円と前事業年度末比10百万円の増加となりました。

これは利益剰余金が9百万円増加したことなどによるものです。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物の残高は632百万円となり、前事業年度末に比べて3百万円の減少となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フロー別の状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは78百万円の収入となりました。

これは主に、税引前四半期純利益137百万円、たな卸資産の減少額55百万円などの増加要因があり、売上債権の増加額122百万円などの減少要因があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは3百万円の支出となりました。

これは主に、定期預金の払戻による収入40百万円の増加要因があり、定期預金の預入による支出40百万円、有形固定資産の取得による支出2百万円などの減少要因があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは67百万円の支出となりました。

これは、配当金の支払額67百万円の減少要因があったことによるものです。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の第2四半期累計期間につきましては、受注状況が当初予想を上回ったこと、加えて製造コストダウン及び経費の削減効果も相まって当初予想を上回る見込みとなりました。

通期の業績予想につきましては、国内の設備投資予想が極めて不透明であること、急激な円高により海外案件でのコスト競争力の低下が懸念されることもあり平成22年4月30日発表の従来予想を据え置くことといたします。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年9月20日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	683,508	686,797
受取手形及び売掛金	840,580	718,341
製品	83,549	76,709
原材料	319,178	342,187
仕掛品	46,447	86,039
その他	46,091	48,103
貸倒引当金	17,819	33,516
流動資産合計	2,001,536	1,924,663
固定資産		
有形固定資産		
土地	413,240	413,240
その他(純額)	116,679	123,054
有形固定資産合計	529,920	536,294
無形固定資産		
投資その他の資産	10,780	12,758
その他	246,364	237,061
貸倒引当金	500	500
投資その他の資産合計	245,864	236,561
固定資産合計	786,564	785,614
資産合計	2,788,101	2,710,277
負債の部		
流動負債		
買掛金	81,954	63,743
未払法人税等	60,000	39,000
賞与引当金	17,894	17,586
役員賞与引当金	9,000	-
その他	47,978	35,168
流動負債合計	216,827	155,498
固定負債		
退職給付引当金	68,366	62,447
固定負債合計	68,366	62,447
負債合計	285,193	217,945

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年9月20日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	557,000	557,000
資本剰余金	639,750	639,750
利益剰余金	1,521,343	1,511,835
自己株式	217,684	217,684
株主資本合計	2,500,408	2,490,900
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,499	1,432
評価・換算差額等合計	2,499	1,432
純資産合計	2,502,908	2,492,332
負債純資産合計	2,788,101	2,710,277

(2) 四半期損益計算書
【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成21年3月21日 至平成21年9月20日)	当第2四半期累計期間 (自平成22年3月21日 至平成22年9月20日)
売上高	710,148	877,151
売上原価	511,091	556,183
売上総利益	199,056	320,967
販売費及び一般管理費	182,602	187,064
営業利益	16,454	133,902
営業外収益		
受取利息	173	156
受取配当金	496	355
デリバティブ評価益	2,470	-
その他	1,200	605
営業外収益合計	4,339	1,117
営業外費用		
為替差損	13,183	12,293
その他	-	470
営業外費用合計	13,183	12,763
経常利益	7,610	122,256
特別利益		
貸倒引当金戻入額	2,903	15,697
特別利益合計	2,903	15,697
税引前四半期純利益	10,514	137,953
法人税、住民税及び事業税	1,881	56,636
法人税等調整額	10,852	3,823
法人税等合計	12,733	60,459
四半期純利益又は四半期純損失()	2,219	77,493

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成21年3月21日 至 平成21年9月20日)	当第2四半期累計期間 (自 平成22年3月21日 至 平成22年9月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	10,514	137,953
減価償却費	12,348	9,466
貸倒引当金の増減額(は減少)	3,021	15,697
賞与引当金の増減額(は減少)	319	308
役員賞与引当金の増減額(は減少)	-	9,000
退職給付引当金の増減額(は減少)	5,654	5,919
受取利息及び受取配当金	669	511
為替差損益(は益)	5,910	10,735
デリバティブ評価損益(は益)	2,470	470
売上債権の増減額(は増加)	165,183	122,238
たな卸資産の増減額(は増加)	95,389	55,761
仕入債務の増減額(は減少)	5,499	18,211
その他	47,393	4,895
小計	236,266	114,273
利息及び配当金の受取額	746	550
法人税等の支払額	77,317	35,919
営業活動によるキャッシュ・フロー	159,695	78,905
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	40,000	40,000
定期預金の払戻による収入	40,000	40,000
有形固定資産の取得による支出	6,696	2,053
無形固定資産の取得による支出	2,480	-
投資有価証券の取得による支出	1,912	1,789
投資活動によるキャッシュ・フロー	11,088	3,842
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	68,058	67,616
財務活動によるキャッシュ・フロー	68,058	67,616
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,910	10,735
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	74,637	3,289
現金及び現金同等物の期首残高	389,918	635,797
現金及び現金同等物の四半期末残高	464,556	632,508

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。